



全国特別支援学校**肢体不自由**教育校長会

全肢長通信

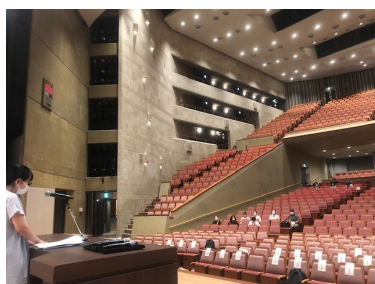
令和5年度 第3号 令和5年8月8日
(不定期発行)



会長 伴 光明
(都立あきる野学園)

「未来につながるいちご一会 歩みだそうとちぎから」

全肢P連栃木大会（関肢P連大会併催）が、さる7月30日（日）、31日（月）の両日にわたって宇都宮市の栃木県総合文化センターで開催されました。



久々の集合開催ということで、主管校であるのぞわ特別支援学校（石井亮校長先生）を中心に、わかさ、栃木の3校が強力に保護者を支援する運営体制を組んで臨みました。こちらは前日リハーサルの風景、念入りに動線確認などをしておられました。かつての大会に参加した私のイメージでは、会場の内外に立って、案内誘導に努める保護者の方がとても多かったように思います。それは今回もあったのですが、むしろ教員スタッフが多く立ち、また進行の調整などにも積極的にかかわっておられました。石井校長先生によると、「せっかくの全国大会ですから**保護者ができるだけ研修や協議に参加してもらえ**るように配慮しました」とのこと、なるほど、と得心が行きました。会の中でも話題になっていましたが、保護者の中にも世代によって活動への距離の取り方が違ってきていたり、近年のコロナ禍による活動の制限などから苦勞している、というPTAの現状があります。そうした中で、運営はもちろん、全国から来訪された方々との協議に参加することは**PTAのモチベーションの向上**には大きく寄与したに違いありません。慧眼に敬服し、多くの力を注いでくれた教職員の皆様に感謝いたします。



6月の全肢長の際にもご講演いただいた菅野視学官からは、保護者に向けた国の動向のお話と、**一層パワーアップしたICT**を用いた教育活動の紹介がありました。会場がどよめく事例もあり、保護者の関心の高さを感じます。

協賛企業等の紹介ブースの設置も、集合型開催ならではのです。各ブースに多くの方が訪れ、賑わいを見せていました。分科会での検討、懇親会に代わる新たな取組である「情報交換会」と、濃密な時間を過ごし、一日目のプログラムを終了しました。



二日目には栃木県の医師であり医療的ケア児等支援センター長でもある高橋昭彦氏から県内での活動のようす、NPOの立ち上げ等のお話をうかがいました。支援体制の構築や組織的な支援を整備していくことは大変重要なことですが、「**時に専門性よりも関係性が優越し**、一人の子供、一組の親子の命が救われることがある」という高橋氏の話には深く感銘を受けました。

今年から推進連盟の理事長になられた岩井雄一先生の全体講評では、PTAの歴史的意義を解説していただき多くの参加者が頷く中、「今回の分科会では学校の取組を保護者が紹介しているものがあったように感じました」とお話しされ、**PTAならではの視点で課題に取り組んでいくことへの期待**が語られました。

さて、私は前日から宇都宮に入りまして、駅の東側で試運転中のライトレール（LRT）を見てきました。ライトレールは床が低く、ホームも低いので、道路からのアクセスが容易です。バリアフリー志向の公共交通機関です。



9月29日（金）



全国大会出場に向けて、各地区大会を勝ち残るのはどの学校？

大会全体では、9月29日までに各地区へのエントリーを済ませ、その後地区大会の審査が始まることになっています。各地区ごとの要項に沿ってエントリーなさってください。

全国大会の舞台は、東京芸術劇場です！

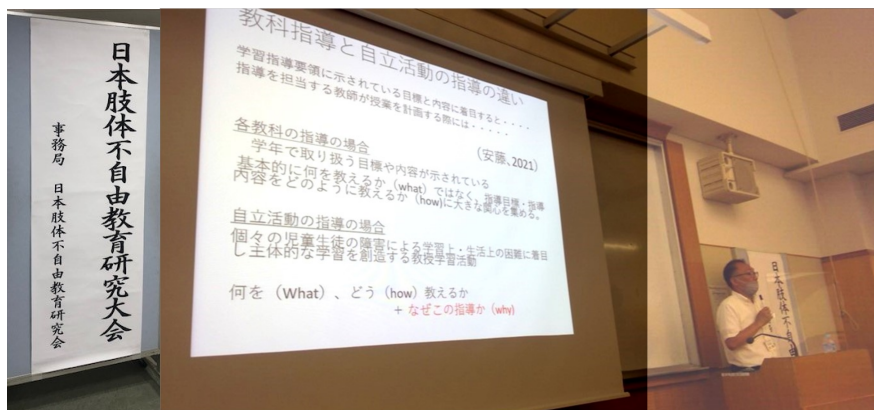
夏休みが明けたら
出展期限をお忘れなく！

9月22日（金）



近年の出展数については、6月の研究大会で説明がありました。各校の図工・美術科などで計画的な出展計画を立てている中とは思いますが、1学期の作品や、夏の取組などから、これは！というものがありませんでしたら積極的な出展をご検討ください！

第47回日本肢体不自由教育研究大会に参加

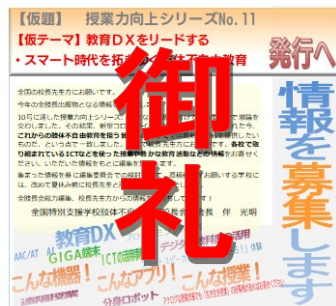


8月4日（金）オリンピック記念青少年総合センターにて開催された日肢研大会、当会は日本肢体不自由児協会、日本障害者リハビリテーション協会と並んで共催しています。大会長である日本肢体不自由教育研究会理事長の西川公司先生の挨拶では、過日逝去された村田茂先生を偲び、この教育の将来にいつそ危機感をもって研究にまい進したい旨のお話がありました。基調講演は今年から特総研を離れ文教大学の准教授になられた北川貴章先生が、自立活動の理解を学習指導要領の変遷から深めていく内容でお話くださり、たいへん有意義な会となりました。



第56回 全肢連岡山大会

8月5日（土）第56回全国肢体不自由児者父母の会連合会（全肢連）岡山大会（中国四国地区大会と併催）にお招きをいただき、岡山コンベンションセンターで行われた開会式典に参加してきました。



授業力向上シリーズの新刊発行に向けた情報収集にご協力をいただきありがとうございました。短期間に本当に多くの情報の提供があり、感謝しています。いただいた情報の中から掲載事例を選定し、7月24日に原稿執筆を依頼しました。全肢研島根大会を目指して、発行準備を加速していきます。

発行：全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

事務局長：泉 愼一

（東京都立八王子東特別支援学校長）

Shinichi_Izumi@member.metro.tokyo.jp

TEL:042-646-8120 FAX:042-642-2197

〒192-0032 東京都八王子市石川町3246-1